

## 農業のビジネスプランづくりでスキルアップ

南魚沼

普及指導センターでは、魚沼・十日町の普及指導センターと共催で、「平成28年度魚沼ブロック農業ビジネス塾」を開催しました。

全5回シリーズの本講座は、若手農業者を対象として、ビジネスの企画力や実行力を身につけてもらうことが目的です。

今年度は、大規模農業法人の従業員から新規に就農したばかりの若手まで、多彩な顔ぶれの農業者8名が参加しました。

講座では、食品流通や商品開発の専門家を講師に招き、「売れる商品づくり」をテーマに「モノを売る」と

いうことを深く掘り下げつつ、販売戦略の発想・企画方法など、今すぐ使える実践的なノウハウを学びました。また、実際にビジネスの現場でも使われるプロ仕様のプランシートを用いて、受講者からビジネスプラン作成を体験してもらいました。

最終回に行われたプラン発表では、お互いのビジネスプランに対して受講生同士が活発に意見交換を行う姿が印象的でした。

受講生からは、「ビジネスプランづくりは難しかったが、計画の重要性を改めて認識できた」「この研修に参加して、いろいろなアイデアが出てきた。今後はアイデアを形にしていきたい」などの声が聞かれ、ビジネスプラン実行に向けた意欲が感じられました。

今後も普及指導センターでは、研修会等の企画・開催を通じて、農業者のビジネススキル向上を支援していきます。



若手農業者を中心に8名が参加



それぞれのビジネスプランを参加者全員で検討

## にんじん栽培勉強会の開催で情報共有

十日町

十日町地域は、春・秋にんじんの産地です。特に春に出荷する「雪下にんじん」は、味・品質ともに市場から高い評価を得ています。

しかし、産地では「除雪の都合で栽培ほ場が限定される」「雪腐菌核病の多発」「収量が不安定」等といった問題を抱えています。そのため、普及指導センターでは関係機関・団体と勉強会を開催し、情報共有を図るとともに、課題解決に向けた取組を進めています。

その1つが栽培品種の整理です。当産地では「れいめい5寸」「クリスティーナ」「エマ」等、様々な品種が栽培されていますが、市場評価の向上のためには、品種を整理していく必要があります。

高冷地農業技術センターやJAと連携して品種比較や栽培実証を行ってきましたが、これまで外観や食味等を一斉に比べたことはありませんでした。今回の勉強会では、当産地に導入されている主要品種（春

にんじん）の外観と食味を比較してみました。

各品種は特徴的な姿、色、香り、味等を有しており、出席者一同、熱心に観察・試食しました。また、高冷地農業技術センター担当者からは、品種特性等について情報提供があり、JAでは今回の比較・情報等を参考に、今後の有望品種の絞り込みや品種選定を進めていく予定です。

普及指導センターでは、今後とも産地の課題に取り組む、美味しい十日町・津南産にんじんの生産を支援していきます。



にんじんの品種比較サンプル



にんじん栽培勉強会の様子